

大学院受験校リスト(様)

「分類」欄のⅠ群は英語と面接で、Ⅱ群は英語と小論文で受験可能となります。Ⅲ群は専門科目の試験が必要です。

地域	大学名<国立大>	研究科・専攻	募集人員	試験日	試験科目	分類		
関東圏	受講生別受験リスト見本	研究科 フ 専攻 がん先端生命科学 ム専攻 腫瘍抑制分野 学コース がん医科学専攻) 専攻(修士課程) 修士課程) 細胞生理学、生化学 門 消化器移植外科学 泌尿器科学講座 腫瘍医	学専攻 診断病理学	若干名	2月上旬	筆記試験(医科学・公衆衛生学・ヒューマンケア科学・医学物理学に関連した英語)、口述試験(医科学の一般知識と志望動機)	Ⅲ群	
関東圏			専攻 がん先端生命科学 ム専攻 腫瘍抑制分野	54名 B日程確認中 29名 B日程確認中	A日程 8/4 B日程確認中	筆記試験(英語を除く) 口述試験 ※TOEFL のスコアシートを提出	Ⅱ群	
関東圏			医科学専攻 分子腫瘍学	学コース	前期:20名 後期:3名	8月下旬 1月下旬	専門科目(指導教授の専門科目)、医科生命科学英語、面接、 ※TOEFLもしくはTOEICのスコア必要	Ⅲ群
中部圏			がん医科学専攻)	専攻(修士課程)	15名 専攻全体	2次、3次募集を秋以降実施	英語、口述試験	Ⅰ群
関西圏			オメディア 学、分子生	専攻(修士課程) 細胞生理学、生化学	25名	7月下旬 1月下旬	英語(一般英語力)、口頭試問(志望専攻の専門基礎知識) ※TOEFLもしくはTOEICのスコア提出で英語試験の代替可	Ⅰ群
中国地方			研究科 医	門 消化器移植外科学	20名	8月中旬 1月中旬	英語、専門科目(生物学等基礎学力に関する口述試験)	Ⅲ群
中国地方			研究院 応	泌尿器科学講座	若干名 専攻全体	2次、3次募集を秋以降実施	英語、面接	Ⅰ群
四国地方			科学研究所	腫瘍学	若干名	2月上旬	英語(TOEFL-ITP)、基礎科学一般(疫学、生物学、生命科学等から3問選択)、口述試験(志望理由と研究内容) ※TOEFL(iBT33点以上、PBTもしくはITP407点以上)、 TOEIC(IP可能、380点以上)、IELT(4以上)で英語試験を代替することは可能だが、あくまでこの点数は最低基準	Ⅲ群
九州地方			学院	病態病理学教室	1次:15名 2次:3名 3次:2名	7月中旬 9月下旬 12月中旬	英語、専門試験 英語、専門科目 英語、専門科目 ※専門試験、専門科目は生命活動の基礎知識(生化学、分子細胞生物学 分子遺伝等)	Ⅲ群
地域			名<公立大>	専攻	募集人員	試験日	試験科目	分類
関東圏	名<公立大>	包生理学部門)、病理学教室(細胞	後期 若干名	1月中旬	英語(英文和訳、和文英訳)、専門科目(基礎的生物学と小論文)、口述試験	Ⅲ群		
関西圏		専攻	未公表 (昨年後期5名)	2月中旬	英語、小論文(一般的内容)、面接	Ⅱ群		
関西圏		専攻	未公表 (昨年後期5名)	2月中旬	英語、専攻主科目(口頭試問)	Ⅲ群		
地域	名<私立大>	専攻	募集人員	試験日	試験科目	分類		
関東圏	名<私立大>	内科学	若干名	2月中旬	英語(辞書持ち込み可)、小論文、面接試問	Ⅱ群		
関東圏		生物学	後期 若干名	2月上旬	英語、専門科目(生命科学に関する基礎知識)、面接	Ⅲ群		
関東圏		態学(病理・腫瘍学講座)	20名 前後期の合計	9月中旬 1月上旬	英語、口述試験(志望理由書に基づく質問及び面接試験) ※次の条件1)~3)のいずれかを満たしている場合には語学試験の受験を免除。当該事項の証明書提出が必要。 1) TOEFL iBT: 60 点以上、PBT: 500 点以上 2) IELTS 5.5 以上 3) TOEIC 600 点以上	Ⅲ群		